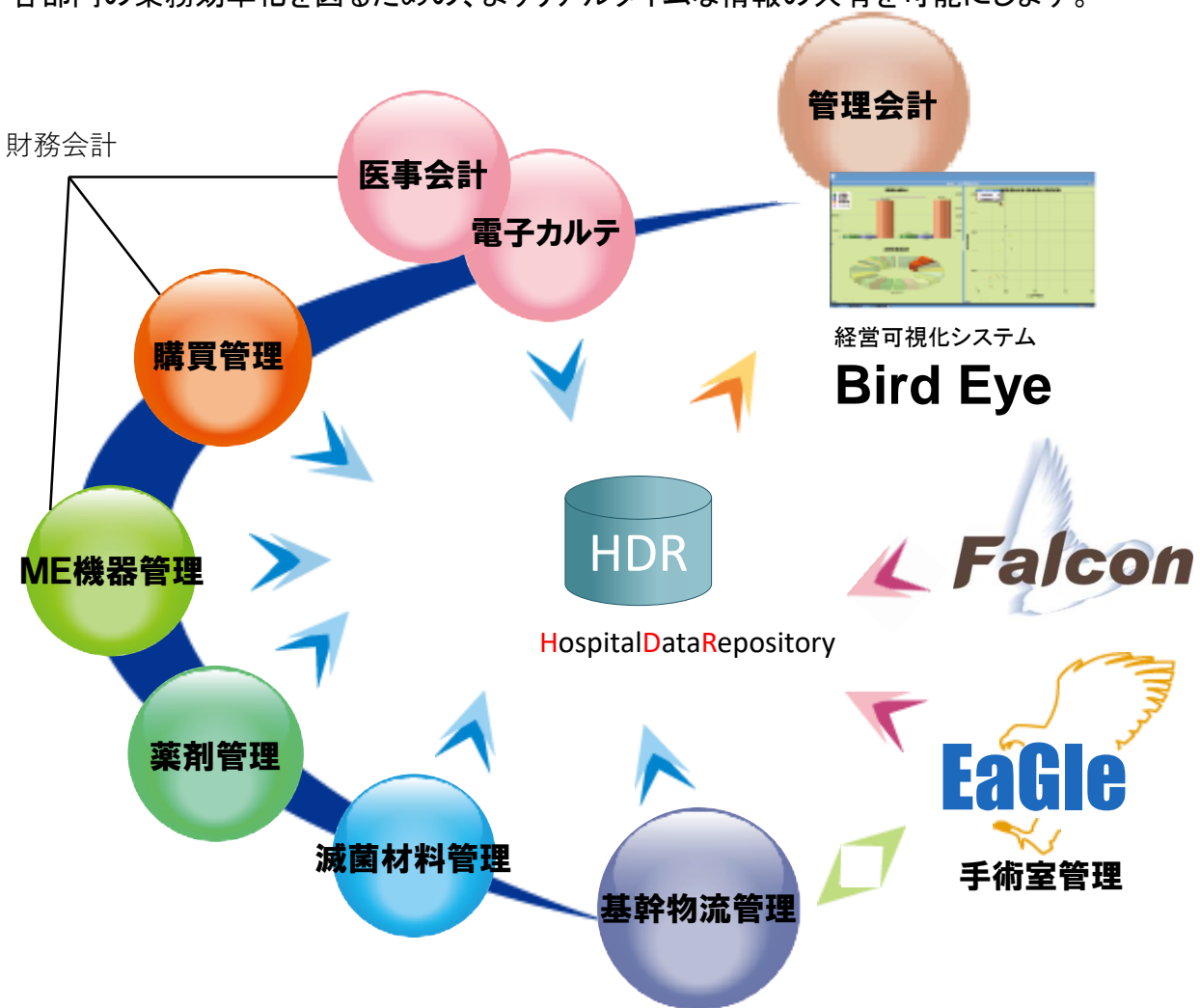


院内システム連携例

病院向け総合物流管理システム『Lagoon(ラグーン)』などの他の院内システムと私たちの推奨するHDR(Hospital Data Repository)を介して連携することで、シームレスな『EaGle』との連動が行え、各部門の業務効率化を図るための、よりリアルタイムな情報の共有を可能にします。



Hospital Data Repository (HDR)


患者情報、処方歴、臨床、生化学、治験データなど膨大なデータを扱う病院情報システム(HIS)への負荷を分散しながら、部門システムとの情報の組み合わせによる、システム間連携の「円滑化」と2次利用を目的とした情報の「活用」を実現するためのシステムです。

カテーテル室管理支援システム



販売:

開発元:

 株式会社DynaxT
ダイナックス ティ

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 6
TEL : 087-887-8881 FAX : 087-887-8889
URL <http://www.dynaxt.co.jp/>
Email info@dynaxt.co.jp

Think Hospitality for Hospital



一日の症例数が多く、使用するカテーテルなどの医療材料が高額なカテーテル室は病院の収入や支出を大きく左右する部門の一つになってきています。『Falcon』はそんなカテーテル室の管理業務をサポートし、1つのシステムでは実現が難しかった医療材料など使用した器材の使用履歴などを管理できる画期的なシステムです。



HIS、もしくはRISから受付情報や予定情報を『Falcon』へ連携



カテの実施情報を登録や確認を行い、医事へ送信



カテの実施情報を『Falcon』から医事システムへ連携し、会計業務などをスムーズに処理

予定管理機能

各カテ室のスケジュール管理を行ったり、病名、感染症、入院・外来、主治医などの患者情報、助手、看護師などの従事予定を登録し、予定の管理が行えます。



機器・薬剤・材料管理機能

オーダーからもらった情報を基に、予定に合わせた材料、器機の準備物登録やセット管理、術前検品などが行えます。また、術中においてもバーコードリーダーでGS1バーコードなどを読み込むことで自動的に使用した材料、機器、薬剤等の判別を行い、登録が行えるので、術後に行っていた材料や薬剤の消費、使った器機の登録などの漏れを防ぐことができます。



手技等実施情報登録機能

症例毎に使用された診療材料や薬剤のみならず、医事課へ申し送りを行うために必要なカテ手術の情報を登録し、カテ伝票として出力が可能です。また、カテ特融の検査項目や穿刺部位等の項目あり、RISなどで別途管理されていた実施記録を保管しておくことが可能です。



計画

HISやRISと連携し、オーダーから予定を作成。執刀医、助手、看護師などを勤務予定を参照しながら登録。必要な薬剤、機器、材料、輸血などの準備を支援し、術前の最終確認まで管理・記録ができます。

準備

使用する薬品、院内製剤、材料、ME機器などを確認しながらピックアップ。術前には、再度準備物の確認を行うためバーコードを使った検品が可能。使用期限や滅菌切れを予防できます。

術中

術中は、使用した薬品や材料の記録、材料などのロス管理や機器、器械のなどの使用実績登録ができます。麻酔管理システムとの連携も可能。また、GS1コードなどのバーコードを読むだけの単純作業なので作業負担もほとんどありません。

術後

術中で記録したデータをHISへ連携。材料などの消費データは院内物流システムへ連携し、在庫切れを防ぎます。また、カテ台帳や日誌などの報告書作成を行うことができ、術後訪問の経過記録も作成することが可能です。

分析

ダッシュボードシステムと連携し、カテ室の稼働状況、在室時間別カテ件数、術式別手術時間など、術中に記録したデータを経営分析に指標としてお使い頂けます。

HIS・RIS連携機能

オーダー情報やRISによる予定情報と連携が可能。材料、薬剤などの消費、器機の利用実績などの情報を電子カルテなどに連携することも可能です。また、術式・処置、加算項目などの登録も行え、カテ室で取り扱う情報の集約が可能です。